

AXIS Q3538-SLVE Dome Camera

腐食しやすい場所に適したステンレス鋼製8 MPドーム

DNV認定のマリングレードステンレス鋼（SS 316L）製の筐体に収められたこの堅牢なカメラは、海水や洗浄剤による腐食作用に対する高い耐性を備えています。また、方向転換、デフォーカス、衝撃から保護されており、広範な温度範囲に耐えることができます。このカメラなら、どのような照明条件下でも優れた4K解像度の映像が実現します。ディープラーニングプロセッシングユニット（DLPU）を搭載しているため、ディープラーニングに基づくエッジでの高度な分析が可能となります。また、AXIS Object Analyticsにより、人やさまざまなタイプの車両を検知および分類でき、その方法はすべて特定のニーズに合わせてカスタマイズ可能です。さらに、内蔵のサイバーセキュリティ機能により、システムを保護することが可能となります。

- > 腐食しやすい場所や過酷な条件に最適
- > マリングレードステンレス鋼のケーシング
- > 4Kの卓越した画質
- > ディープラーニングによる分析機能のサポート
- > 内蔵サイバーセキュリティ機能



AXIS Q3538-SLVE Dome Camera

カメラ	
イメージセンサー	1/1.2"プログレッシブスキャンRGB CMOS ピクセルサイズ2.9 μm
レンズ	パリアフォーカル、6.2~12.9 mm、F1.6~2.9 水平画角: 103° ~49° 垂直視野角: 56° ~28° パリアフォーカル、リモートフォーカス、リモートズーム、P-Irisコントロール、IR補正
デイナイト	自動切換え赤外線カットフィルター
最低照度	カラー: 0.07ルクス (50 IRE、F1.6) 白黒: 0ルクス (50 IRE、F1.6)
シャッター速度	1/66500秒~2秒
カメラ調整	パン±180°、チルト-43~+80°、回転±175°
システムオンチップ (SoC)	
モデル	ARTPEC-8
メモリー	RAM 2,048 MB、フラッシュ8,194 MB
コンピューティング機能	深層学習処理ユニット (DLPU)
ビデオ	
ビデオ圧縮	H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline、Main、High Profile H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル Motion JPEG
解像度	16:9: 3840x2160~160x90 16:10: 1280x800~160x100 4:3: 2880x2160~160x120
フレームレート	WDR オン時: 25/30 フレーム/秒 (電源周波数50/60 Hz) WDR オフ時: 50/60 フレーム/秒 (電源周波数50/60 Hz)
ビデオストリーミング	H.264、H.265、およびMotion JPEGにおいて、複数で且つ個別に設定可能なストリーム Axis Zipstreamテクノロジー (H.264、H.265) フレームレートおよび帯域幅の制御 VBR/ABR/MBR H.264/H.265 低遅延モード ビデオストリーミングインジケーター、
WDR	Forensic WDR:最大120 dB (撮影シーンによる)
マルチビューストリーミング	最大8つのビューエリアを個別に設定可能
画像設定	彩度、コントラスト、輝度、シャープネス、ホワイトバランス、デイナイトモード閾値、トーンマッピング、露出モード、露出エリア、曇り除去、たる型歪曲の補正、電子動体ブレ補正、圧縮、回転:0°、90°、180°、270° (コリドールフォーマットを含む)、ミラーリング、オーバーレイ (テキスト/画像)、ダイナミックオーバーレイ (テキスト/画像)、プライバシーマスク、ボリゴンプライバシーマスク
画像処理	Axis Zipstreamテクノロジー、Forensic WDR、Lightfinder 2.0、OptimizedIR
パン/チルト/ズーム	デジタルPTZ、光学ズーム、プリセットポジション 制限付きガードツアー、コントロールキュー、画面上での方向表示 ツアー録画 (最大10、最大時間16分)、ガードツアー (最大100) 2倍光学ズーム
音声	
音声機能	自動ゲインコントロール スピーカーのペアリング
音声ストリーミング	設定可能な通信方式: 双方向 (全二重)
音声エンコーディング	24bit LPCM、AAC-LC 8/16/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Opus 8/16/48 kHz ビットレート設定可
音声入力/出力	外部マイク入力またはライン入力 (バランス型またはアンバランス型)、ライン出力、デジタル音声入力 マイク電源: マイク電源5V (チップ)、リングパワー12V (リング)、ファントム電源12V (チップ/リング)
ネットワーク	
ネットワークプロトコル	IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS、HTTP/2、TLS、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、RTSP、RTCP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、DHCPv4/v6、ARP、SSH、SIP、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、リンクローカルアドレス (設定不要)
システムインテグレーション	
アプリケーションプログラミングインターフェース	VAPIX®、メタデータ、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については axis.com/developer-community を参照) ワンクリックによるクラウド接続 ONVIF® Profile G、ONVIF® Profile M、ONVIF® Profile S、ONVIF® Profile T (仕様については onvif.org を参照)
ビデオ管理システム	AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、AXIS Camera Station 5、および axis.com/vms で入手可能なAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。
画面上コントロール	電子動体ブレ補正 デイナイトの切り替え デフォグ機能 ワイドダイナミックレンジ ビデオストリーミングインジケーター、 赤外線照明 ヒーター
エッジツール	スピーカーのペアリング
イベント条件	分析機能、外部入力、状態監視外部入力、エッジストレージイベント、APIによる仮想入力 音声: 音声検知、音声クリップ再生 呼び出し: 状態、状態変化 装置状態: 動作温度範囲を上回ったとき、動作温度範囲外、動作温度範囲を下回ったとき、IPアドレスの削除、ネットワーク接続断絶、新しいIPアドレス、衝撃検知、ケーシング開放、ストレージの障害、システムの準備完了、動作温度範囲内 デジタル音声: デジタル信号にAxisメタデータが含まれている、デジタル信号のサンプリングレートが無効、デジタル信号がない、デジタル信号OK エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検出 I/O: デジタル入力、手動トリガー、仮想入力 MQTTサブスクリプション MQTT: ステートレス スケジュールおよび繰り返し: スケジュール ビデオ: いたずら、平均ビットレート低下、デイナイトモード、ライブストリームオープン
イベントアクション	I/O: I/Oを一度切り替え、ルールが有効な間にI/Oを切り替え ビデオ録画: SDカード、ネットワーク共有 画像またはビデオクリップのアップロード: FTP/SFTP/HTTP/HTTPS/ネットワーク共有/電子メール 録画またはアップロード目的でのプリ/ポストアラームビデオまたは画像のバッファリング 通知: 電子メール、HTTP、HTTPS、TCP、およびSNMPトラップ 呼び出し: SIP呼び出しの終了、SIP呼び出し、呼び出しへの応答 MQTTパブリッシュ オーバーレイテキスト、外部出力の駆動、音声クリップの再生、ズームプリセット、デイナイトモード、呼び出し、ステータスLEDの点滅、照明の使用、曇り除去モードの設定、MQTTパブリッシュメッセージの送信、WDRモードの設定

設置支援機能内蔵	レベルアシスタント、画像の歪み補正、画像グリッド、ピクセルカウンター
分析機能	
アプリケーション	同梱 AXIS Object Analytics、AXIS Scene Metadata、AXIS Image Health Analytics、AXIS Live Privacy Shield ^a 、AXIS Video Motion Detection、いたずら警告、音声検知
サポート	AXIS License Plate Verifier AXIS Camera Application Platformに対応し、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (axis.com/acap を参照)
AXIS Object Analytics	物体クラス: 人間、車両 (タイプ: 車、バス、トラック、バイク、その他) シナリオ: ライン横断、エリア内の物体、エリア内の滞在時間、クロスラインカウント、エリア内の占有状態、エリア内の動き、ライン横断の動き 最大シナリオ数は10本まで その他の機能: 軌跡、色分けされた境界ボックスおよびテーブルで視覚化されたトリガー物体 対象範囲と除外範囲 奥行きの設定 ONVIF 動作アラームイベント
AXIS Image Health Analytics	Detection settings (検知設定): いたずら: ブロックされた画像、リダイレクトされた画像 画像劣化: ぼやけた画像、露出不足の画像 その他の特徴: 感度、検証期間
AXIS Scene Metadata	物体クラス: 人、顔、車両 (種類: 車、バス、トラック、バイク)、ナンバープレート 物体属性: 車両の色、上/下の服の色、信頼度、ポジション
認証	
製品のマーキング	BIS、CE、DNV、NFS、KC、RCM、UL/cUL、UKCA、VCCI、WEEE
サブライチャー	TAA 準拠
EMC	CISPR 35、EN 50121-4、EN 55032 Class A、EN 55035、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2 オーストラリア/ニュージーランド: RCM AS/NZS CISPR 32 Class A カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A) 日本: VCCI Class A 米国: FCC Part 15 Subpart B Class A 鉄道: IEC 62236-4
安全性	CAN/CSA-C22.2 No60950-22、CAN/CSA C22.2 No. 62368-1、IEC/EN/UL 62368-1、IEC/EN/UL 60950-22、IEC 62471、IS 13252
環境	IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP66、IEC/EN 60529 IP67、IEC/EN 60529 IP68、ISO 20653 IP6K9K、IEC/EN 62262 IK11 (50J)、NEMA 250 Type 4X、NEMA TS 2 (2.2.7-2.2.9)
ネットワーク	NIST SP500-267
サイバーセキュリティ	ETSI EN 303 645、FIPS 140
認定	DNV: EMC B、筐体C、湿度B、温度D、振動A 証明書: TAA00003C6 NSF: 証明書: C0759806
サイバーセキュリティ	
エッジセキュリティ	ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 OpenID 認定コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、AES-XTS-Plain64 256bit SDカード暗号化 ハードウェア: Axis Edge Vault サイバーセキュリティプラットフォーム TPM 2.0 (CC EAL4+、FIPS 140-2 Level 2)、セキュアエレメント (CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、Axis デバイスID、セキュアキーストア、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

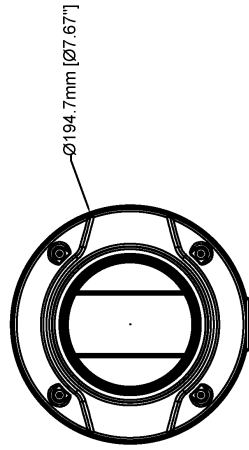
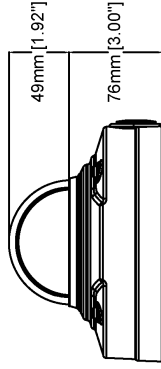
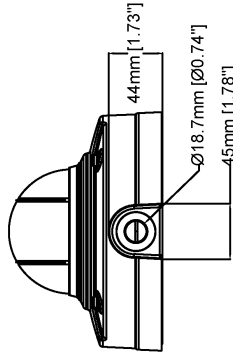
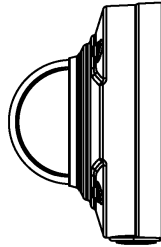
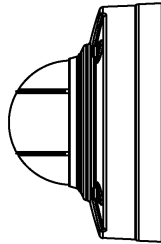
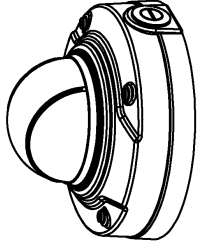
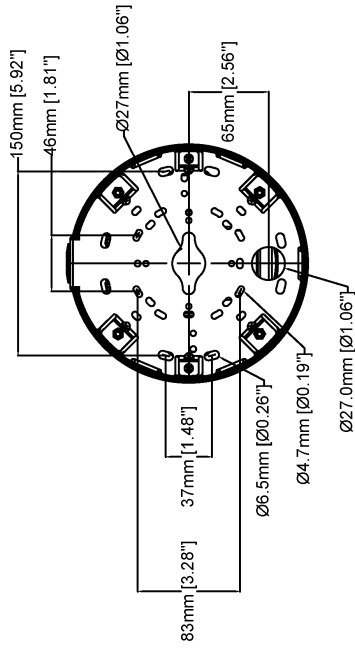
ネットワークセキュリティ	IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)、IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS、TLS v1.2/v1.3、Network Time Security (NTS)、X.509 証明書PKI、ホストベースのファイアウォール
文書化	<i>AXIS OS</i> ハードニングガイド <i>Axis</i> 脆弱性管理ポリシー <i>Axis</i> セキュリティ開発モデル AXIS OS ソフトウェア部品表 (SBOM) ドキュメントをダウンロードするには、 axis.com/support/cybersecurity/resources にアクセスしてください。 Axis のサイバーセキュリティのサポートの詳細については、 axis.com/cybersecurity にアクセスしてください。
概要	
ケーシング	IP6K9K、IP66、IP67、IP68、NEMA 4X 規格準拠、IK11 (50 ジュール) 耐衝撃性、ステンレススチール製のケーシング ポリカーボネートハードコーティングドーム、除湿膜搭載 電解研磨 SS 316L ステンレススチール製 カプセル化された電子部品 ステンレススチール製拘束ネジ
取付	取り付けブラケット、ジャンクションボックスの穴付き (ダブルギヤング、シングルギヤング、4インチ4角、4インチ8角) 3/4インチ (M25) コンジット穴 (側面)
電源	Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at 準拠 Type 2 Class 4 通常 9 W、最大 23 W 10~28V DC、標準 9 W、最大 24 W
コネクタ	音声: 3.5 mm マイク/ライン入力、3.5 mm ライン出力 I/O: 2つの設定可能な状態監視入力/デジタル出力用ターミナルブロック (12V DC 出力、最大負荷 50 mA) ネットワーク: シールド付き RJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE 電源: DC 入力
IR イルミネーター	電力効率が高く長寿命の 850 nm 赤外線 LED を搭載した、Optimized IR 照射距離 40 m 以上 (撮影シーンによる)
ストレージ	microSD/microSDHC/microSDXC カードに対応 SD カード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit) NAS (Network Attached Storage) への録画 推奨される SD カードと NAS については、 axis.com を参照
動作温度	-50 °C ~ 55 °C NEMA TS 2 (2.2.7) による最高温度: 74 °C 起動温度: -40 °C 湿度: 10~100% RH (結露可)
保管条件	-40 °C ~ 65 °C 湿度: 5~95% RH (結露不可)
寸法	高さ: 125 mm 直径: 165 mm
重量	2.2 kg
パッケージ内容	インストールガイド、Windows® 用デコーダ (1 ユーザーライセンス)、穴あけ用プレート、DC および I/O 用ターミナルブロックコネクタ、RESISTORX® L 型レンチ、コネクタガード、直径 5~15 mm ケーブルガスカート、直径 3~5 mm ケーブルガスカート、取り付けブラケット、プラグ
オプションアクセサリー	AXIS TQ3807-E Dome Smoked AXIS TQ3807-E Dome Clear AXIS T91F61 Wall Mount AXIS T91F67 Pole Mount ウェザーシールドを搭載した AXIS T94U02D Pendant Kit AXIS T94U01D Pendant Kit AXIS Multicable B I/O Audio Power (マルチケーブル B I/O 音声電源) AXIS T8415 Wireless Installation Tool AXIS Surveillance Card その他のアクセサリーについては、 axis.com/products/axis-q3538-slve#accessories にアクセスしてください。
システムツール	AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセクター、アクセスリセクター、レンズカリキュレーター axis.com で入手可能
言語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証	5年保証、 axis.com/warranty を参照
製品番号	axis.com/products/axis-q3538-slve#part-numbers で入手可能
サステナビリティ	
物質管理	PVC不使用 RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018) に準拠 (EC) No 1907/2006に準拠したREACH。SCIP UUIDについては、 axis.com/partner を参照してください。

環境責任 axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です
(詳細については unglobalcompact.orgを参照)

a. **ダウンロード可能**

寸法図面



AXIS Q3538-SLVE Dome Camera

Revision	v.01	Revision date	2022-12-12
Paper size	A4	Release date	2022-12-12
Created by	MF	Scale	1:5

© 2022 Axis Communications

www.axis.com

注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするために、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されるまでからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

さらに、署名付きビデオにより、ビデオ証拠が改ざんされていないことを確認できます。各カメラは、セキュアキーストアに安全に保存された固有のビデオ署名付きキーを使用して、ビデオストリームに署名を追加し、ビデオの発信元をAxisカメラまで遡れるようにします。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://www.axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

Zipstream

Axis Zipstreamテクノロジーにより、帯域幅とストレージの要件を平均50%低減させながら、ビデオストリーム内のすべての重要な検証用データを確保します。また、Zipstreamには3つのインテリジェントアルゴリズムが搭載されており、これにより、関連するフォレンジック情報が最大解像度および最大フレームレートで識別、録画、送信されます。

Forensic WDR

厳しい照明環境下で画像が不鮮明なカメラとは異なり、ワイドダイナミックレンジ (WDR) テクノロ

ジーを搭載したAxisのカメラは、重要な検証用の詳細画像を鮮明に映し出します。最も暗い部分と最も明るい部分の差が大きいと、映像の有用性と鮮明さに影響することがあります。Forensic WDRは、目に見えるノイズやアーティファクトを効果的に低減し、フォレンジック用途に最大限に調整されたビデオを提供します。

Lightfinder

Axis Lightfinderテクノロジーは、暗闇に近い環境でも動きによる画像のブレを最小限に抑えた高解像度フルカラービデオを提供します。Lightfinderはノイズを取り除くことでシーン内の暗い部分を見やすくし、非常に低光量な環境でも細部まで捉えます。Lightfinderを搭載したカメラは、低光量では人間の視力を上回る色の識別力を発揮します。監視では、人、物体、車両を識別するために色が重要な要素となることがあります。

AXIS Object Analytics

AXIS Object Analyticsはプリインストールされたマルチフィードビデオ分析機能です。人、車両、車両タイプの検知と分類を実行します。AIベースのアルゴリズムと行動条件のおかげで、シーンとその中の空間的な動きを分析できます。お客様固有のニーズに合わせて設定をカスタマイズ可能です。拡張性が高くエッジベースであるため、最小限の設定により、同時に実行されるさまざまなシナリオに対応できます。

OptimizedIR

カメラインテリジェンスと精巧なLEDテクノロジーを合体させた独特のAxis OptimizedIRにより、完全な暗闇でも利用できる最先端のカメラ統合IRソリューションが実現します。OptimizedIRを搭載したパン/チルト/ズーム (PTZ) カメラでは、カメラのズームイン/ズームアウトに合わせて、赤外線ビームが広くなったり狭くなったりするよう自動的に調整され、視野全体が常に均等に照光されます。

詳細については、[axis.com/glossary](https://www.axis.com/glossary)を参照してください。